

ナンバープレートカバーの耐候性試験及びナンバープレートの視認性調査

【目的】

樹脂製であるナンバープレートカバーは太陽光にさらされることにより劣化、変色等を生じ、ナンバープレートの視認性を損なうことが考えられる。そこで、カバーの耐候性試験を行い、ナンバープレートに装着した状態で視認性の変化等のデータを収集し、ナンバープレートカバーの規制のあり方に関する検討資料とする。

【概要】

耐候性評価試験の結果より、その透過率の低下度合いに対応した視認性評価試験を行うこととし、耐候性評価試験と視認性評価試験の2段階に分けて実施する。

Step 1：耐候性評価試験（H20.1.～H20.3 まで）

ナンバープレートカバーをサンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験機により紫外線照射し、透過率や劣化度の変化を調査する。

Step 2：視認性評価試験（H20.4.～H20.6 まで）

紫外線照射をしたナンバープレートカバーをナンバープレートに装着したときの、視認性を評価する。

【試験内容】

試験品	<ul style="list-style-type: none"> ・着色されているもの ・クリアタイプ <p style="text-align: center;">*材質名が明らかなもの</p>	
Step 1		
耐候性試験	サンシャインカーボンアーク灯式耐候性試験器による紫外線照射 試験時間：500 時間	
	①透過率の測定 可視光線透過率計を用いて測定 ②劣化度の確認 観察評価（耐候性試験前、試験後の比較）	
Step 2	透過率が 80%以下の場合	透過率が 80%以上の場合（*要検討）
視認性試験	カバーをサンプルナンバープレートに装着し、規定条件（200lx,10lx、観察距離 20m、正対,15 度,30 度）で観察し、ナンバープレートの文字が識別できるかを評価する。	① ナンバープレートにカバー装着したものとならないものを並置し、その見え方を比較評価する。 ・見やすい、やや見やすい、同等、やや見にくい、見にくい、の5つから選択。 （番号灯や前照灯の点灯を模擬した条件でも同様の評価を実施）

		② カバーを規制するか否かのアンケート ③ ナンバープレートにカバー装着したものとしな いものを並置し、その見え方が等しくな るよう、番号灯の明るさを調節する。 ④ 既定条件での視認性
被験者	30名	

【スケジュール】

月日	作業項目	
1 月	上	
	中	
	下	ナンバープレートカバー選定・購入・サンプル加工
2 月	上	耐候性試験開始 第1回検討会（2/4）
	中	
	下	耐候性試験 終了
3 月	上	透過率測定
	中	第2回検討会（耐候性試験報告、視認性試験方法検討）
	下	
4 月	上	
	中	
	下	視認性試験
5 月	上	
	中	第3回検討会（実験結果まとめ）
	下	
6 月	上	対応方針検討（検討会）
	中	
	下	報告書 提出